

# 国際共同制作ワークショップ参加者オーディション!!! [ 演出家 1 名・出演者 6 名程度 ] 募集!!!

## ASIAN PERFORMING ARTS FORUM

### ■APAF 国際共同ワークショップとは？

「国際共同制作ワークショップ」は、アジア各国からの参加者が3チームに分かれ、1つのテーマのもとに約10日間のワークショップを経て15分程度のオリジナル小作品を上演します。参加者は、演出家(日本から1名、東南アジアから2名を予定)と出演者(2017年度は8カ国から13名が参加)からなり、3チームのうち1チームが次年度のAPAFで国際共同クリエイション公演を行います。期間中は、ディレクターの多田淳之介をはじめスタッフがアドバイスやバックアップを行います。今後のアジアの舞台芸術を担う世代のアーティストが、国やバックグラウンド、ジャンルの異なるメンバーとの共同創作を通じて新たな価値観を育み、国際コラボレーションによる舞台芸術の可能性を拓いていくことを目指しています。演劇以外のジャンルからも応募可能です。海外のアーティストとの作品づくりに興味のある方は奮ってご応募ください。

■実施期間 2018年10月29日(月)～11月12日(月)

■実施場所 東京芸術劇場、静岡(SPAC)など

■参加者へのサポート・期間中の各国語の通訳

・ [ 出演者 ] 日当 3,000円 × 15日間(10月29日～11月12日) = 4万5千円(予定)

※交通費・食費込み。ただし、静岡往復交通費と静岡滞在費(朝食込)は現物支給し、静岡滞在中の昼食・夕食は日当から差し引きます。

・ [ 出演者 ] 参加の成果について「ラップアップ」で登壇・プレゼンいただくにあたって謝礼を別途お支払いします。

・ [ 演出家 ] 演出料を別途お支払いします。また、静岡往復交通費と静岡滞在費(朝食込)は現物支給します。

・ 日本国内遠隔地からの参加の場合、東京・池袋までの往復、宿泊にかかる費用についてご相談ください。

### ワークショップテーマ 『 Violent 』

人間を人間たらしめているものの一つとして暴力との関係があります。私たちは有史以来暴力を忌避すべきものと規制しながら、都合に合わせて行使してきました。他者との関係におけるエレメントでもあり、時代や地域と共にその形も変貌し続けています。このテーマはアジア共通の何かを見つけるためのものではありません。舞台上に「暴力」を出現させて欲しいわけでもありません。舞台芸術は昨日を紐解き、今日の人間たちによって、明日へのアクチュアルな思索をしていく表現です。まずは各アーティストのローカリティの中から今日を生きる私たちにとっての「暴力なるものとの関係」を見つめて欲しい。そしてどのように時代が進んでも、身体によって存在している限り、人間は身体表現の力を必要としていくでしょう。プリミティブな、そしてソーシャルなテーマから、今日の身体表現についての実践も期待しています。

APAF ディレクター 多田淳之介

### 募集概要 《書類選考の上、演出家は面接を、出演者はオーディションを行います。》

応募〆切 6/20 23:59 《書類選考→一次選考結果通知【6月中】→面接・オーディション【7/3・都内】→結果通知【7月中旬】》

○募集人数 [ 演出家 ] 1 名 [ 出演者 ] 6 名程度 ※東南アジアをはじめ海外からの参加者を含め計十数名で実施する予定です。

○応募資格 [ 演出家 ] 日本在住で、これまでに5作品以上の演出経験があり、海外や他ジャンルのアーティストと共同作業をしたいと思う演出家または振付家など、演出家に相当するアーティスト。

[ 出演者 ] 日本在住で、これまでに5作品以上の出演経験があり、海外の演出家や俳優、他ジャンルのアーティストと共同作業をしたいと思う俳優、またはダンサーなど他ジャンルのアーティスト。

[ 共通して ] 原則18歳から40歳を目安とします(U22枠の選択可。詳細は下記参照)。

実施期間である10月29日から11月12日の全ての日程・内容に参加できること。

※期間中は各国語の通訳が付きますが、特に出演者間の意思疎通には英語を使用する場面が多くなります。

※選考結果や諸連絡は原則としてメールで行います。必ずメールでの連絡がとれるようPCや携帯電話の設定をご確認ください。

《U22枠》=2018年度末(2019年3月31日時点)で22歳以下の方

22歳以下\*の方は、芸歴や経験を問わずどなたでもご応募頂けます。日本国内外で活躍する演出家や俳優、パフォーマーとの作品づくりに携わることができる貴重な機会です！この機に国際共同制作、そしてアジア舞台芸術の「今」を体験してみてください。U22枠の出演者への日当・謝礼・交通費の支給はありません。ただし、静岡往復交通費と静岡滞在費(朝食・昼食・夕食込)は現物支給します。

○応募方法 **APAF 公式サイト専用フォーム** <http://butai.asia/ja/>

※プロフィールや活動歴のほか、作文などを提出いただけます。

主催：アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区\* 共催：国際交流基金アジアセンター  
助成：平成30年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業(豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業)\* \*APAFワークショップ、アートキャンプに対して

\*APAFは、東京芸術祭2018の一部門として実施されます。ここに掲載の内容は予定であり、変更になることがあります。お問合せ：アーツカウンシル東京 apaf@artscouncil-tokyo.jp